

# 2011年3月期 第2四半期決算説明会



ZeeM

株式会社クレオ  
2010年11月2日



# 決算概要

# 2011年3月期第2四半期 決算概要



(百万円)	2010/3期 第2四半期	2011/3期 第2四半期	増減額 前年比
売上	4,594	4,389	△4.4%
営業利益	△43	△148	—
経常利益	△32	△135	—
四半期純利益	△1	△341	—

## 連結業績

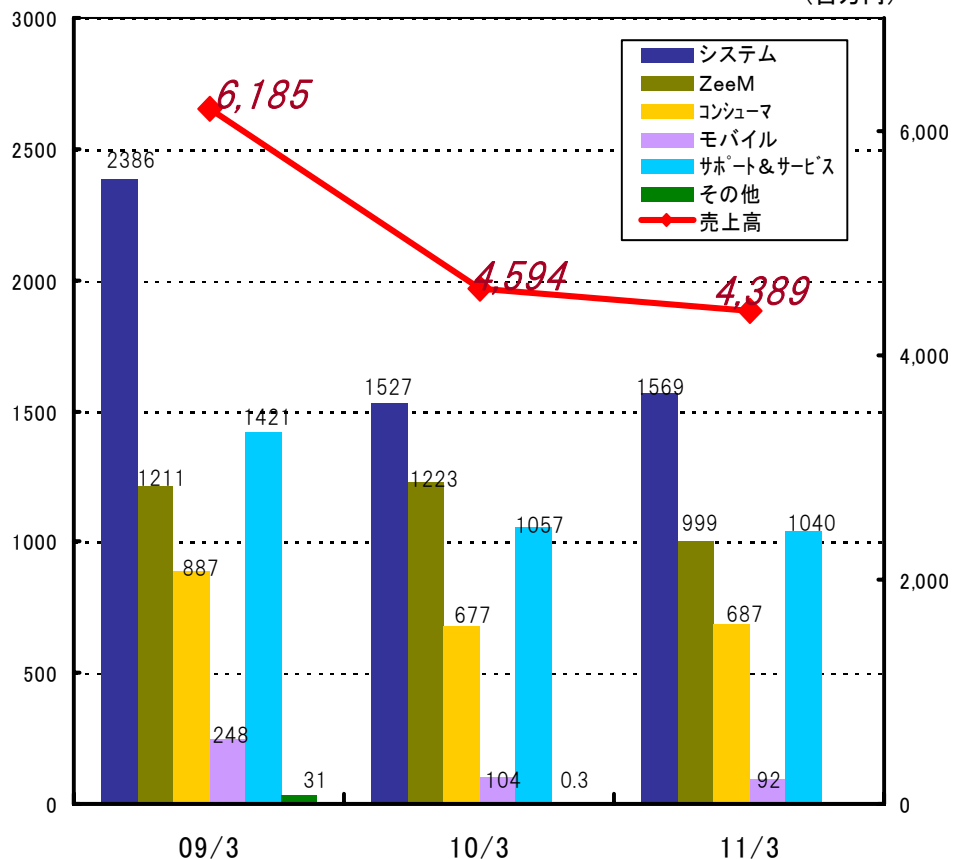
- 売上については、計画値に届かず、受注不足により前年比減少
- 営業利益、経常利益については、不採算プロジェクトの発生により損失増加
- 四半期純利益については、特別損失(キャリア転換優遇支援制度\*1)の発生によるもの

\*1 キャリア転換優遇支援制度:2010年7月実施、56名応募、下期より効果を見込

# 2011年3月期第2四半期 決算の概要(売上)

売上高:セグメント別

(百万円)



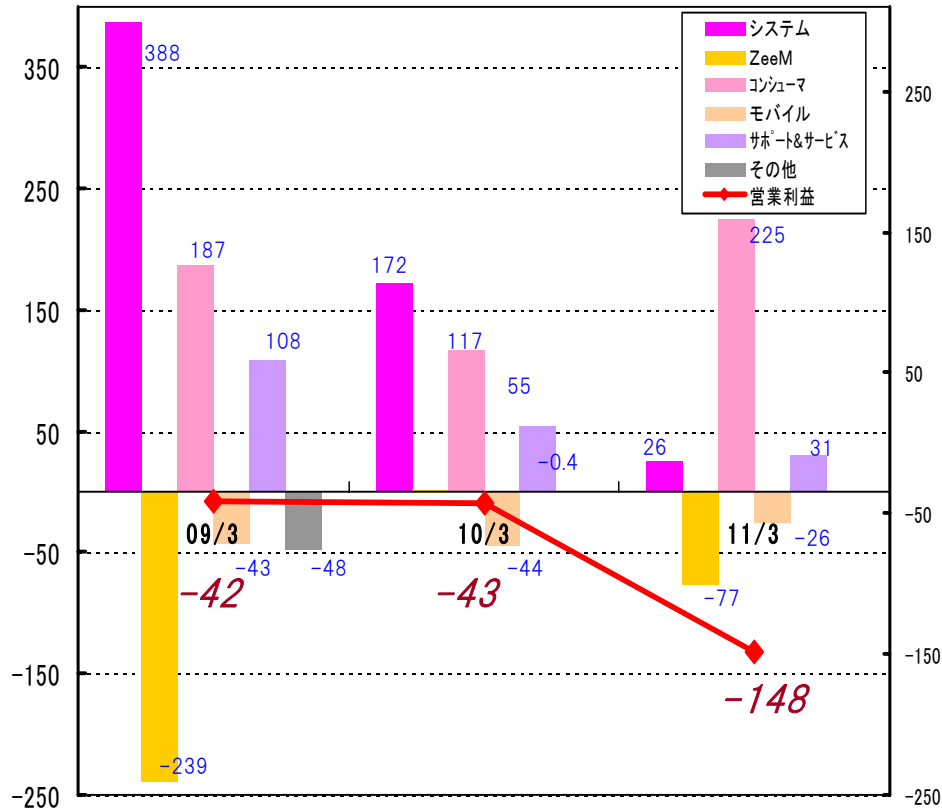
四半期別売上高

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
09/3	2,554	3,631	2,947	2,986
10/3	1,893	2,701	2,359	2,564
11/3	1,816	2,573	—	—

	2010/3期 第2四半期	2011/3期 第2四半期	増減額	増減率
システム	1,527	1,569	42	2.8%
ZeeM	1,223	999	△224	△18.4%
コンシューマ	677	687	9	1.5%
モバイル	104	92	△11	△11.0%
サポート& サービス	1,057	1,040	△16	△1.6%
連結合計	4,594	4,389	△205	△4.4%

# 2011年3月期第2四半期 決算の概要(営業利益)

営業利益:セグメント別 (百万円)



四半期別営業利益

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
09/3	-301	258	10	-73
10/3	-285	242	-35	140
11/3	-309	161	—	—

	2010/3期 第2四半期	2011/3期 第2四半期	増減額	増減率
システム	172	26	△146	△84.8%
ZeeM	1	△77	△78	—
コンシューマ	117	225	107	91.4%
モバイル	△44	△26	18	—
サポート& サービス	55	31	△24	△43.4%
連結合計	△43	△148	△104	—

# 2011年3月期第2四半期 損益計算書の概要



〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2011/9末			2010/9末	
	金額	構成比	増減	金額	構成比
売上高	4,389	100.0%	△205	4,594	100.0%
営業費用	4,537		△100	4,637	
営業利益（△は営業損失）	△148	-3.4%	△105	△43	-0.9%
営業外損益	14		3	11	
経常利益（△は経常損失）	△135	-3.1%	△103	△32	-0.7%
特別利益	0		△46	46	
特別損失	186		179	7	
税引前四半期純利益（△は税引前四半期純損失）	△322	-7.3%	△328	6	0.1%
法人税等	19		1	18	
少数株主利益（控除）	0		10	△10	
四半期純利益（△は四半期純損失）	△341	-7.8%	△340	△1	0.0%

## 増減ポイント

＜売上高＞＜営業損益＞

「決算の概要」の通り

＜特別損失＞

キャリア転換優遇支援制度実施や  
資産除去債務会計基準適用に  
よるもの

# 2011年3月期第2四半期 貸借対照表の概要①

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2010/9末			2010/3末	
	金額	構成比	増減	金額	構成比
資産合計	5,778	100.0%	20	5,758	100.0%
流動資産	4,811	83.3%	20	4,791	83.2%
現金・預金	2,112		△398	2,510	
受取手形及び売掛金	2,103		335	1,768	
棚卸資産	401		61	340	
その他	198		22	176	
貸倒引当金	△4		△1	△3	
固定資産	967	16.7%	0	967	16.8%
有形固定資産	179		5	174	
無形固定資産	470		△6	476	
のれん	72		△25	97	
その他	397		19	378	
投資等	316		0	316	

## 増減ポイント

### <流動資産>

#### ・現金及び預金:

キャリア転換優遇支援制度等による減少

#### ・受取手形及び売掛金:

筆まめの出荷に伴う売掛金による増加

#### ・棚卸資産:

システム開発事業、ZeeM事業の仕掛増加

# 2011年3月期第2四半期 貸借対照表の概要②

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2010/9末			2010/3末	
	金額	構成比	増減	金額	構成比
負債合計	1,878	32.5%	361	1,517	26.3%
流動負債	1,625		304	1,321	
買掛金	356		118	238	
短期借入金および社債	25		0	25	
その他	1,244		186	1,058	
固定負債	253		57	196	
長期借入金および社債	10		10	-	
その他	243		47	196	
純資産合計	3,900	67.5%	△341	4,241	73.7%
資本金	3,149		0	3,149	
資本剰余金	1,428		0	1,428	
利益剰余金	△559		△341	△218	
自己株式	△122		0	△122	
株式等評価差額金	0		0	0	
少数株主持分	3		0	3	
負債純資産合計	5,778	100%	20	5,758	100%

## 増減ポイント

### <流動負債>

#### ・買掛金:

筆まめ出荷に伴う仕入債務の計上による増加

#### ・その他:

筆まめ出荷に伴う返品調整引当金計上による増加

### <固定負債>

#### ・その他:

資産除去債務計上による増加



# 2011年3月期第2四半期 キャッシュフロー計算書の概要

〔百万円未満は切り捨て〕

区 分	2010/9末		2009/9末
	金額	増減	金額
<b>営業活動CF</b>	<b>△264</b>	<b>△91</b>	<b>△173</b>
税金等調整前四半期純利益	△322	△328	6
減価償却費	137	10	127
売上債権の増減額（増加：△）	△334	△276	△58
たな卸資産の増減額（増加：△）	△61	111	△172
仕入債務の増減額（減少：△）	118	144	△26
その他	198	248	△50
<b>投資活動CF</b>	<b>149</b>	<b>224</b>	<b>△75</b>
有形固定資産の取得	△1	0	△1
無形固定資産の取得	△139	78	△217
定期預金の預入/払戻	300	330	△30
その他	△11	△184	173
<b>財務活動CF</b>	<b>7</b>	<b>74</b>	<b>△67</b>
短期借入れによる収入	40	45	△5
短期借入れの返済による支出	△45	△45	0
その他	12	74	△62
現金及び現金同等物の期末残高	1,872	△301	2,173
3ヶ月超の定期預金残高	240	△190	430
現金及び預金	2,112	△491	2,603

## 増減ポイント

### <営業活動キャッシュフロー>

- ・四半期純損失の発生及び  
売上債権の増加により  
営業CFが減少

### <投資活動キャッシュフロー>

- ・3ヶ月超の定期預金払戻しによる  
支出の増加

# 2011年3月期の計画



(百万円)	2010/3期 第3四半期 累計	2011/3期 第3四半期累計 計画値	2010/3期 通期	2011/3期 通期	
				計画値	前期比
売 上	6,953	6,900	9,518	10,350	8.7%
営業利益	△79	△250	62	40	△36.3%
経常利益	△67	△250	82	40	△51.4%
四半期純利益	△56	△390	86	15	△82.7%

## ■第3四半期累計及び通期見通し

- ・第2四半期は大幅な下方修正。第3四半期以降は上期実施したキャリア転換優遇支援制度による人件費削減等により上期損失をリカバリーし、2010年4月28日予想を継続。
- ・引き続き、公表値の着実な達成を目指す



# 事業の概況

# セグメント毎の概況

## ZeeM 事業

- 第2四半期は、第1四半期より受注が鈍化した。引き続き“人材開発”“就業管理”への注目度が高く、受注拡大の強化を図る。
- 非基幹業務系サービスで、データセンタやSIer向けの統合運用管理サービスである“ZeeMサービスデスク”への注目度が大手企業ユーザを中心に順調に高まっており、第2四半期も著名エンジニアリング会社の契約が成立した。更にプロモーションを強化し、売上拡大を進める。
- 注目のクラウドコンピューティングへの対応では、引き続き、主要パートナーや販売チャネルとの協業での実現を推進する。

## システム 開発事業

- 第2四半期には複数のトラブルプロジェクトが発生し、収益への多大な影響があった。トラブルプロジェクトの未然防止に向けPMO機能を強化中。
- 依然として厳しい市場環境への対応として、引き続き、以下を実施中。
  - ・クラウドコンピューティング時代に向けたデータセンタ向け運用保守、インフラ構築などに注力、この分野における安定的なパートナー構築に取り組み中。
  - ・社会インフラ系の新たなICT活用分野に着目し、この分野での実績作りを推進中。

## コンシューマ 事業

- 筆まめ  
新製品Ver.21シリーズを9月3日発売、前年並みの出荷達成。  
実売状況は、競合他社製品の価格引下げにより、前年を下回って推移。  
⇒ 10月25日に新製品発表会実施など、最需要期の11月から販売施策で挽回予定
- プロアトラス  
新製品SV6シリーズを9月17日発売。上半期(4月～9月)のトップシェア奪回(BCN)。  
⇒ 年間トップシェアを目指す。

# セグメント毎の概況

## モバイル 事業

- 受注状況は引き続き厳しいが、受注高そのものは前年同期を上回った。しかし、利益計上できるレベルに至っていない。
- 重点注力分野として、活況を呈するソーシャルネット分野への取り組みを推進中。具体的には複数のゲームメーカーに協業提案し、共同でのソーシャルアプリの開発を推進中。当社は高負荷対応のバックエンドサーバーの構築と運用サービスを提供。
- 今後の重点分野としては、スマートフォン活用分野を強化している。

## サポート& サービス 事業

- 第1四半期に引き続き、顧客の業務内製化による受注減は縮小傾向にある。ただし、効率化施策によるコストダウン要求は引き続き強い状況。
- 既存顧客の新規見込み案件について、顧客内で予算化の見通しが立たず今期中の受注は困難な状況である。
- 一部顧客で、内製化から再度アウトソーシングに回帰する動きは継続中。引き続きこの分野での受注拡大に注力。
- 構築・運用監視系業務の一部に受注増の兆しがある。引き続き強力に取り組む。

# 【ご参考】 プレスリリース一覧 (2010年7月～2010年9月)

7月

東映グループ、14社2,000名を支える人事給与業務基盤として、  
クレオの『ZeeM 人事給与』を採用

『筆まめonlineグッズプリント フォトでタンブラー』サービス開始！

デジタルサイネージ対応スケジュール編集アプリケーション

「MediaCollector」を発売

『筆まめVer.21』9月3日発売

はがき・住所録ソフト『筆まめVer.21』

イメージキャラクターに女優・上戸彩さんを起用

『筆まめ純正デザイン集2011年版』9月3日発売

『筆まめSelect2011』 『筆まめSelect2011年賀編』9月3日発売

『プロアトラスSV6』9月17日発売

8月

9月

スケジュール編集ソフト「MediaCollector」

TBSが館内サイネージシステムで採用

パチンコ・パチスロホール様向け

『ジャグラー集客POPサービス』を無料提供

『筆まめおつきあい帳2』11月5日発売



—ご清聴ありがとうございました—



<IR窓口> 株式会社クレオ 広報IR室 : TEL03-3445-3539

本資料に記載される見通し、今後の予測、戦略などに関する情報は、本資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲でなした判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であっても、本資料を無断で複写・複製、または転送などを行わないようにお願いします。